

子どもの発熱・咳どう対応する？

株式会社日立製作所 日立総合病院
看護科 小児救急看護認定看護師

発熱



なんで熱がでるの？



ウイルスや細菌は熱に弱いので
体の中に入ってくると
人間の体は高熱を出して免疫を働かせて
ウイルスや細菌と戦う

発熱は体内で免疫が頑張っている証拠



発熱

緊急性のある発熱

- 3カ月未満の38℃以上
- 母乳やミルクなどの水分を摂るのを嫌がる
- 12時間以上尿が出ない
- ぐったりしている
- 呼吸時にゼイゼイ音がして苦しそう



38℃以上の熱

- ☐ 3カ月未満
- ☐ 元気がなく、ぐったりしている
- ☐ 母乳やミルクを飲みたがらない
- ☐ 呼吸時にゼイゼイ音がする
- ☐ 半日程度尿が出ない
- ☐ 呼吸が苦しそう
- ☐ もともと病気をもっている

1 つも当てはまらない

- ☐ 母乳やミルクを飲む量がいつもより少ない
- ☐ おしっこの量や回数が減ってきている
- ☐ 機嫌が悪い
- ☐ 眠らない
- ☐ いつもより食欲がない

1 つも当てはまらない

- ☐ 38℃程度あるが機嫌はよい
- ☐ 母乳やミルクなど水分は摂れている
- ☐ 食欲はいつも通り

1 つ以上当てはまる

救急外来受診

1 つ以上当てはまる

かかりつけ医受診

家で様子を見る

体温の1日の変化



体温は

夕方～夜にかけて上がり



朝方～昼間は下がる



高熱は数日続くことが多い



38℃以上の熱がでた場合
数日間は発熱が続くことが多い

昼間、平熱にもどっていても
夕方から夜にかけて熱が上がることもある

高熱は数日続くことが多い

夜間の発熱がないことを確認して、
通園・通学の再開を検討しましょう



発熱時の対応

身体を冷やす

保冷の効果的な部位

- ①首まわり
- ②わきの下
- ③足の付け根

＊保冷剤をガーゼなどでくるんで使用



発熱時の対応

震えている

熱が上がるサイン

布団をかけたり暖かくしてあげてください



手足が温かく顔が赤い

熱が上がったサイン

背中にしっとり汗をかいていたら暑すぎる可能性あり
布団や服を1枚ぬいでみてください



～解熱剤の豆知識～

平熱（36℃台）まで下げるものではない!!

解熱剤を使った時の熱から

0.5℃～1℃程度下げる効果

例えば・・・39℃で解熱剤を使用した場合

→ 38℃前後まで下げる効果



～解熱剤の豆知識～

解熱剤は一次的に熱を下げるもの
発熱の原因を治療するものではない
解熱剤の効果がきれば、再度熱は上がる



子どもの元気を示す
3つのサインとは？



大切なことは・・・

寝る



遊ぶ



食べる



3つができているか？

「寝る・遊ぶ・食べる」ができていれば
あわてて受診しなくても大丈夫

お家でゆっくり休むことも
大切な治療です

